

東日本大震災復興支援報告

東日本大震災復興支援活動は、夏休み期間に多くの子どもたちが参加しました。夏休み子ども映画会は次回ご報告いたします。

ボードゲーム会

6月20日（土）大船渡市・日頃市コミュニティーセンターにて、2回目となるボードゲーム会が開催されました。

会場の2階では、放課後児童クラブ・五葉キッズさんが活動なさっていて、今回も子どもたちがたくさん遊びにきてくれました。約20名の参加でした。

今年の4月から中学生になった男の子が、ゲーム会を聞きつけて、前回は楽しかったからと、午後から友人達と遊びにきてくれました。（午前中は地区中総体だったようです。）

行事と重なり、参加が少なくなることがしばしばですが、来てくれた子どもたちが楽しんでいる様子がたくさん見られました！

また、ボードゲームの男性スタッフを覚えていて楽しく会話する姿も、見られました。男性スタッフも嬉しそうにしていました。

今回は、1回目のボードゲーム会に参加されたお母さんの希望で2回目となるボードゲーム会が実現しました。

沿岸支援スタッフ 伊東 信子



ふれあい交流・練習会、発表会

震災の年から始まった、大槌キッズコーラス♪あぐどまめ&キャラホール少年少女合唱団との交流が今年も開催されました。7月18日、陸中海岸青少年の家(山田町)で交流会・練習会そして、おたのしみは野外炊飯・キャンプファイヤー・・・

19日は、練習の成果を発表する「ふれあいコンサート」が大槌町中央公民館で行われ、”ひょっこりひょうたん島メドレー”などかわいらしいステージに大きな拍手で盛り上がりました。

参加した子どもたちは、40名、ご指導された先生方、ボランティアスタッフのみなさまありがとうございました。

参加した子どもたちから感想文が多数寄せられました。

■ <思ったこと・感じたこと> まちはひどかったけれど、みんなのえがおがすてきでした。

<いちばん心に残ったこと> あぐどまめのみんなと歌ったこと。

<参加できなかったメンバーに伝えたいこと> まちはつなみでながされたけれど、みんなの歌でえがおをいっぱいに出れたらなあと思いました。

(小2)

■ <思ったこと・感じたこと> 紙しばいを見て、つなみのおそってくるのが、すごくこわいことと、自分がもし海のちかくにすんでいたらすぐににげたいと思いました。

<いちばん心に残ったこと> キャンプファイヤーの班の出しもので、てつわんアトムを歌ったことです。きんちょうしたけれど、みんなが手びょうししてくれたので楽しかったです。

<参加できなかったメンバーに伝えたいこと> キャンプファイヤーの班の出しものをしたときにおもしろかった班のことです。 (小3)

■ <思ったこと・感じたこと> 自然の力はとてもおそろしく、こわいものだと思います。まだ、ふっこうしていないので1日でもやくふっこうしてほしいと思いました。

<いちばん心に残ったこと> あぐどまめのみんなと楽しくコンサートができたことが心に残っています。他にもキャンプファイヤーが心に残りました。

<参加できなかったメンバーに伝えたいこと> 今年のコンサートもとても楽しかったので、来年は来てみてください。 (小6)

■ <思ったこと・感じたこと> ちょっと涙が出たけどがんばって聞きました。街の様子を写真で見た時悲しい気持ちになりました。DVDを見て、緊張しました。大震災の地震を思い出しても怖かったです。もしも、また地震がきたら落ち着いて行動したいです。

<いちばん心に残ったこと> お兄さんたちに色々教えてもらったことがうれしかったです。足を上げるダンスが難しかったけれど、教えてもらいました。鉄腕アトムを歌った時「ヒーローのポーズがかっこよかったよ。」とほめてくれました。お兄さんたちはかっこよかったです。

<参加できなかったメンバーに伝えたいこと> カレーライス作りでは、ジャガイモを洗って皮むきをしました。カレーは最高のうまさでした。おいしくて3杯おかわりをしました。大成功でした。キャンプファイヤーでは、火の神様が「火をあたえます」と素敵なお話を聞いたこともかっこよかったです。また、あぐどまめさん思い出を作りたいです。 (中3)

第1日目

7月18日(土) みんなで練習! みんなであそんで! キャンプファイヤー!

陸中海岸青少年の家(山田町)





第2日目

7月19日(日) ふれあいコンサート

大槌町中央公民館ホール

